

2021年12月10日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 小 僧 寿 し
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 小 林 剛
(J A S D A Q コ ー ド : 9 9 7 3)
問 合 せ 先 経 営 企 画 部 室 長 毛 利 謙 久
(TEL. 03-4586-1122)

連結子会社である株式会社アニスピホールディングスとの事業連携における、
小僧寿しグループの今後の事業成長戦略と新たなビジョンについて

当社は、2021年11月16日付「特定子会社の異動を伴う株式会社ミートクレスト及び株式会社アニスピホールディングスの株式の取得並びに第三者割当による新株式発行に関するお知らせ」にて公表いたしました通り、株式会社アニスピホールディングス（以下「AHD」という。）株式を95%取得し、現物出資による第三者割当増資により2021年12月2日付で払込を完了しております。

連結子会社であるAHDとの事業連携における小僧寿しグループの今後の事業の取組みについて下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 今後の事業方針について

AHDは、主要事業であるペット共生型障がい者グループホーム「わおん」「にゃおん」（2021年12月1日現在全国に779施設）の他、フィットネス型の障がい者デイサービス「ワーカウト」も全国展開を開始しております。2021年12月1日現在既に6拠点がオープンしており、利用者の増加に伴い順調に売上を伸ばしております。また、動物看護師によるペットシッターサービス「CARE PETS（ケアペッツ）」事業も行い「人間福祉と動物福祉の追求」という企業理念のもと、事業成長を図っております。

一方、当社は事業方針として、「トータル・フード・プロバイダー」（食のシーンにおける「接続機能」を当社が果たし、「テイクアウト」「イートイン」「デリバリー」の提供チャネルを活用した統合的な食の提供事業）を掲げており、「日常食」「機能食」「ハレの日の贅沢食」等の目的に応じた食の提供事業を推進する事で、事業領域の拡大と成長を進めております。

当社グループは、社会・福祉事業領域において、イシュー・ドリヴン・カンパニー（社会課題を解決することによって成長する企業）を掲げるAHDとの事業連携により、新たに「食と福祉を融合させる事業成長戦略」を描き、「ソーシャル・フード・カンパニー」という新たに掲げるビジョンの実現に向け、さまざまな取組みを開始することを、お知らせいたします。

当社グループブランド店舗の「就労継続支援事業所化」について

「就労継続支援事業所」とは、一般企業等での就労が困難である障がいを有する方々（知的障がい・精神障がい・身体障がい・発達障がい・難病）に対して、生産活動、その他の活動の機会を提供し、就労に必要な知識、能力向上のために必要な訓練等を行う障害者総合支援法に基づく事業です。AHDは、ペット共生型障がい者グループホーム「わおん」「にゃおん」を既に全国に779施設展開しており、そこには、延べ4,000人以上の障がいのある方々が入居されております。しかしながら、当該入居者の方々の就労場所の選択肢が非常に限られており、特に飲食系の就労場所が希望者に対して不足している状況にあります。

一方、当社グループには、主軸事業の「持ち帰り寿し事業」である「小僧寿し」、「デリバリー事業」である複合型宅配店「デリズ」、「飲食事業」である「とり鉄」など、全国に展開する飲食店舗が存在しており、FC加盟店を含めたその総店舗数は373店舗となっております。

当社は、当社グループの各店舗において、障害者総合支援法に基づく就労継続支援事業所の指定を取得し、障がい者を有する方々が「住まいの近くで、楽しく働き、経済的に自立できる」一つのきっかけを提供したいと考えており、その機会の提供を行うことを目的とした「就労継続支援事業所化」を進めてまいります。

具体的には、小僧寿しの全直営店 71 店舗（2021 年 12 月 10 日現在店舗）において、障がい者総合支援法に基づく就労継続支援事業所の指定を 2022 年 4 月より順次取得する予定であり、各店舗において、障がい者の方々の就労受入をスタートする予定です。実際の運営に関しては、AHDとの連携によって質の高い就労継続支援事業所づくりに邁進してまいります。

更には、当社グループの各店舗において、主に児童を対象に、無料または安価で食事を提供する「こども食堂」に対して、弁当、お寿司等の食事提供等の支援を進めてまいります。食事提供支援等を進めていく中で、地域の児童の栄養状態の改善の一助となるような取組みを進めると共に、各市町村の児童相談所やこども食堂と連携する中で、児童虐待の発見や予防、見守りなどの実施も進めてまいりたいと思います。

また、上記の事業実現が果たされた場合、「小僧寿し×障がい者就労継続支援」の複合型モデルのフランチャイズ(FC)展開を合わせて企図しております。当該複合型ビジネスモデルによるフランチャイズ展開に関しましては、2022 年 8 月よりフランチャイズ加盟開発を進める予定であり、出店計画については、別途報告をさせて頂く予定です。

創業 57 年の歴史を有する当社が、創業 5 年の福祉ベンチャー企業である AHD と強力に事業連携する事により、「食と福祉を掛け合わせた新たな事業成長戦略」を描き、新たな事業領域への展開を図ってまいります。当社グループは、上記の事業を来年 4 月からスタートさせることによって、2022 年度を「ソーシャル・フード・カンパニー」の事業開始年度として位置付け、「今日の食が明日の福祉に」をスローガンに、事業を力強く推進していく事で、売上を向上させ、株主の皆様への還元、そして、社会への還元を行ってまいりたい所存です。

2. AHDにおける当期以降の事業推進について

当社グループが AHD との事業連携により「小僧寿し×障がい者就労継続支援」という新たな事業の取組みを推進する一方で、当社グループが有する「食の提供」機能を介して、AHD の既存事業に新たな価値をもたらす事が可能であると考えております。AHD におきましては、当期事業年度である 2022 年 3 月期において堅調に黒字を創出しておりますが、ここに新たな事業の取組みとして、AHD が運営するペット共生型障がい者グループホーム「わおん」「にゃおん」への「365 日の日常食提供」を開始し、現在展開が完了している 779 の施設（利用者数 4,000 人以上・1 日食数 8,000 食・1 ヶ月食数 240,000 食）及び、今後施設開発が決定している 500 以上のグループホーム拠点に対しての「365 日の日常食」の提供事業を推進してまいります。

3. 今後の予定について

2022 年 12 月期以降の、AHD の連結子会社化による当社グループへの業績への影響に関しましては、現在精査中であり、精査が完了次第、AHD の事業収支計画も加味した上で、当社グループの新たな中期経営計画の策定を進め、当該計画の策定が完了した後、速やかにお知らせいたします。

以上